

白山中学校 第3学年 「道徳」 シラバス

教科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

評価の視点・方法

道徳科における、

- ①学習状況
- ②道徳性に係る成長の様子

- ・個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえた評価
- ・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価

- 発言、道徳ノートによる評価
- 教師の観察による評価
- 生徒自身による自己評価

特色ある学習方法

- ・内容項目に応じて、チームティーチングやゲストティーチャーを活用します。
- ・職員全体で道徳性を育むために、時期に応じて、学年職員が道徳の授業をするローテーション道徳の実施をします。
- ・「考え、議論する道徳」が展開されるよう発問や授業形態を工夫します。

	主な学習項目	学習のねらい
一学期	よりよく生きる喜び 友情、信頼 礼儀	内なる弱さと向き合い、それを克服することで生きること に喜びを見出そうとする実践意欲を育てる。 友情の尊さを理解するとともに、友達をよき理解者として心から信頼し、互いに励まし高め合い、協力し合おうとする態度を育てる。 礼儀は形と心が溶け合ったものであることを理解し、相手に対して敬愛する気持ちを自然と態度で示そうとする実践意欲を育てる。
二学期	真理の探究、創造 遵法精神、公德心 感動、畏敬の念	よりよく生きるために、真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうとする実践意欲を育てる。 法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、規律ある社会の実現に努める態度を育てる。 自然の神秘に感動し、人間の力を超えたものへの畏敬の念を深めようとする心情を育てる。
三学期	国際理解、国際貢献 勤労 よりよい学校生活、集団生活の充実	国際的な視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。 主人公の変容を知ることによって、自分の考え次第で仕事が楽しくなることを理解し、働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を深める。 自分の学校に対する愛着を深め、協力して校風を継承し、発展させようとする態度を育てる。